

## 2026年度 帯広大谷短期大学 看護学科 出前講座

番号	テーマ	内容	担当者
1	ナイチンゲールを語ろう	近代看護の創始者、ナイチンゲールがどんな看護をしたのか、クイズで探ってみよう。	山川京子 教授
2	コミュニケーション技術 ～問診にトライ～	コミュニケーション技術は看護の入り口！どんな尋ね方をすると症状がわかるかな。	山川京子 教授
3	体験して学ぶ「介護予防」 ～筋力や認知力の低下を予防するには？ 実際に体験して学ぼう～	加齢に伴う心身機能の低下をできるだけ防ぐには… 笑いながら楽しく行える「頭」と「身体」を使ったトレーニングの実際を体験してみましょう。	正保里恵子 准教授
4	認知症の理解 ～偏見や誤解をなくすために、認知症の方の 日常生活の困りごとを考えてみよう～	認知症の方は、できなくなったことなどに対して不安を持って生活しています。認知症の方の不安や困りごとを考えてみることで、寄り添える人になりませんか。	正保里恵子 准教授
5	白黒つけられない看護の話	患者さんへの声かけ、命の選択、ルールと気持ち。“正解のない看護”と一緒に考えてみませんか？	天谷美紀 准教授
6	“その人らしさ”を支える看護を考えよう	「自分らしく生きる」を支える看護について考えてみよう。	天谷美紀 准教授
7	命を守る ～こころの健康づくり～	中学・高校生がこころの健康について正しく理解し、ストレスとの付き合い方や悩みを抱えたときの対処法について学ぶことで、自分自身や周囲の大切な人の命を守る力を身につけることを目的とする。	伊東健太郎 准教授
8	一緒に考えましょう ～やさしく学ぶメンタルヘルス～	メンタルヘルスについて「知る・気づく・支える」をテーマに学ぶ構成です。専門用語をできるだけ避け、参加者が日常生活に活かせる内容を目指します。	伊東健太郎 准教授
9	みんなでやってみよう！当事者研究 ～困りごとをみんなの知恵で研究する～	本講座では、当事者研究の考え方を学びながら、自分自身の困りごとを「研究のテーマ」として捉え、参加者同士で考える体験を通して、自分らしく生きるためのヒントを見つける。	伊東健太郎 准教授
10	救急外来のリアル！ ～あなたならどうする？～	急変や応急対応、歓談力にいて、倒れた人や気分不良の人がいたら何をするか？体験型で講義を行う「非日常と実践」で展開していく内容です。	佐藤千秋 講師
11	その生活、10年後のカラダ大丈夫？	「生活習慣×将来のリスク」で現在の高校生や中学生が一般的な”若者の生活”をしているとどのような影響が生じるか。また若いうちからのセルフケアについて考える内容です。	佐藤千秋 講師
12	フィジカルイグザミネーション ～問診・視診・聴診・触診・打診）と バイタルサイン～	5感を使って患者さんを知る、看護師が最初に行う身体診察「フィジカルイグザミネーション」の入門講座！問診・視診・触診・打診・聴診の基本から、命の指標であるバイタルサインの見方まで体験しながら学びます。	濱松理絵 助教
13	赤ちゃんの気持ち ～NICUってどんなところ？～	日本の周産期医療およびNICU(新生児集中治療室)の生存率は、世界の中でトップレベルです。日本では、妊娠22週以降であれば医療の力で救命の対象となります。NICUでどのような看護が行われているのかご紹介いたします。	濱松理絵 助教
14	社会人基礎力 ～今から取り組む社会人基礎力～	社会で求められる力、「社会人基礎力について」高校生活の中で今からできることを一緒に考えてみることで自分のキャリアについて考えていく内容です。	濱松理絵 助教
15	「突然、昨日まで通りに話せなくなったら？」 ～脳卒中と“その人らしさ”を支える看護～	脳卒中で突然起こる“話せない・動けない”を体験しながら、その人らしい生活を支える看護を学びます。	内海優子 助教
16	「救急24時のその後を支える仕事」 ～助かったあと、患者さんの人生はどのような？～	救急やICUで助かった後、患者さんはどんな生活を送るのでしょうか。命をつないだ“その後”を支える看護の仕事を紹介いたします。	内海優子 助教
17	「片麻痺ってどんな感じ？」 ～脳卒中の患者さんを体験してみよう～	「片麻痺ってどんな感じ？」を体験しながら、脳卒中後の生活や、患者さんを支える看護師の仕事について学びます。	内海優子 助教
18	子どもの交通事故を防ごう	令和2～4年までの不慮の事故による死因内訳では、1～4歳の第1位は交通事故です。大人がどのようなことに気をつけるとよいか、考えましょう。	嶋田純 助教
19	子どもの成長について考える ～〇〇選手は、どうして身長が高いのか～	寝る子は育つのか？ 子どもの身体的成長について、その要因を深掘りしよう。	嶋田純 助教
20	赤ちゃんのお話し	赤ちゃんの成長の話と妊婦スーツ体験、赤ちゃん人形抱っこ体験を通して「いのち」を考えよう。	坪井真美 助教
21	異文化体験	ゲームを通して、言葉が通じない外国人にどう伝えるかを考える体験を通して、「国際看護」について考えてみよう。	坪井真美 助教
22	妊婦体験をしてみよう ～お腹が大きくなるってどういうこと？～	妊婦ジャケットを装着してみよう！妊婦さんの体験をして、妊婦さんの気持ちや大変さについて考えてみましょう。	山口小百合 助教
23	赤ちゃんの心臓の音、聴いたことある？	赤ちゃんの人形を使って、赤ちゃんの心臓の音を聞いてみよう！どのくらいの速さかな？(※電源を使用させていただきます)	山口小百合 助教